



林もとひと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

LCCは成田空港発展の力ギ

成田市選出の林幹人県議(2期)は豊かな識見と行動力で、市民に約束した成田空港と地元成田市の発展に全力を挙げています。12月県議会一般質問に立った林県議は、LCC(格安航空会社)などから要望されている成田空港の運用時間緩和について質問、このほか、若者の心と体を蝕む脱法ハーブについて、県の指導取締状況を尋ねました。林県議の質疑の模様を特集します。

運用時間制限の緩和要望、検討を



12月県議会一般質問を行う林幹人県議

港の運用時間

間に合わずに欠航が生じていることがたびたび報じられ、LCCサイドからも成田空港の運用時間制限を緩和してほしいという要望が出ている。

12月県議会一般質問 成田市特集

林議員 近年の航空分野では格安航空会社、いわゆるLCCの積極的な事業展開が目立っており、海外、とりわけ欧米や東南アジアにおいては、LCCの占める割合がすでに3割前後を占めている。これに比べ、日本を含む北東アジアでは7%前後であり、こうした航空界の趨勢からも、わが国におけるLCCの割合は、今後増加するものと予想されている。

成田空港の発展にとってLCCの動向、その取り扱いが、いかにきわめて重要であるが、就航以来、最終便が成田空

港に到着するものと予想されている。成田空港の発展にとってLCCの動向、その取り扱いが、いかにきわめて重要であるが、就航以来、最終便が成田空

港に到着するものと予想されている。成田空港の発展にとってLCCの動向、その取り扱いが、いかにきわめて重要であるが、就航以来、最終便が成田空

港に到着するものと予想されている。成田空港の発展にとってLCCの動向、その取り扱いが、いかにきわめて重要であるが、就航以来、最終便が成田空

港に到着するものと予想されている。成田空港の発展にとってLCCの動向、その取り扱いが、いかにきわめて重要であるが、就航以来、最終便が成田空

港に到着するものと予想されている。成田空港の発展にとってLCCの動向、その取り扱いが、いかにきわめて重要であるが、就航以来、最終便が成田空

港に到着するものと予想されている。成田空港の発展にとってLCCの動向、その取り扱いが、いかにきわめて重要であるが、就航以来、最終便が成田空

時間の弾力的な対応について、県はどう考えているのか。

知事 成田空港では、現在、国内外6社のLCCが、毎週約180便を運航しており、特に本年7月の日系LCCの参入以降、9月までの国内線旅客数は、前年度比で約2・3倍の100万人を超えています。

一方、LCCは、単一機材による往復運航を基本に運用するため、遅延が積み重なることや代替機材の手当ができないことから、空港の運用時間内に間に合わず欠航につながるケースもあつたところです。

このため、日系LCC2社は、成田空港の運用時間の緩和や弾力的な対応を求めています。県としては、騒音下の住民の生活環境に大きな影響を与えるおそれがあることから、関係者間で十分に協議の上、地元の理解を得ながら検討すべきものと考えています。

また、地元経済団体からも、悪天候などのやむを得ない事由による遅延便については、運用時間外であつても例外的に着陸を認めるべきという要望が関係機関に出されている。

そこで、成田空港におけるLCC就航の現状と課題についての認識はどうか。また、空港運用時間の弾力的な対応について、県はどう考えているのか。

林もとひと
オフィシャルサイト
<http://www.motohito884.com/>

「新しい成田を目指して」
「月間コラム」毎月15日更新

政策・提言やプロフィール等を紹介しています。**ブログ**や**フェイスブック**・**ツイッター**もこのホームページからご覧になれます。



※公職選挙法の規定により新年のご挨拶が制約されています。この県議会レポートをもって年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

要望
を取り巻く環境は、30万回の合意を得たことで、ここ最近、LCCの就航など大きく変わっている。

それらは、全て成田空港にとってプラス要因。実際、テレビや雑誌などの成田空港を取り扱う姿勢も好意的になってきている。

この好機に、のんびりと構えていては、LCCはビジネスであり、採算が合わなければ撤退してしまう。しっかりとLCCの要望に

要望
を取り巻く環境は、30万回の合意を得たことで、ここ最近、LCCの就航など大きく変わっている。

それらは、全て成田空港にとってプラス要因。実際、テレビや雑誌などの成田空港を取り扱う姿勢も好意的になってきている。

この好機に、のんびりと構えていては、LCCはビジネスであり、採算が合わなければ撤退してしまう。しっかりとLCCの要望に

要望
を取り巻く環境は、30万回の合意を得たことで、ここ最近、LCCの就航など大きく変わっている。

それらは、全て成田空港にとってプラス要因。実際、テレビや雑誌などの成田空港を取り扱う姿勢も好意的になってきている。

この好機に、のんびりと構えていては、LCCはビジネスであり、採算が合わなければ撤退してしまう。しっかりとLCCの要望に

要望
を取り巻く環境は、30万回の合意を得たことで、ここ最近、LCCの就航など大きく変わっている。

それらは、全て成田空港にとってプラス要因。実際、テレビや雑誌などの成田空港を取り扱う姿勢も好意的になってきている。

この好機に、のんびりと構えていては、LCCはビジネスであり、採算が合わなければ撤退してしまう。しっかりとLCCの要望に

林もとひと県議・プロフィール

昭和48年 9月 銚子市に生まれる
平成 4年 3月 銚子市立銚子高校卒業
平成 8年 3月 玉川大学文学部卒業
5月 米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月 空港グランドサービス入社
平成12年 4月 衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月 衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成19年 4月 千葉県議会議員初当選
平成23年 4月 千葉県議会議員再選

○現 職○

- 県議会 総合企画水道常任委員会副委員長
- 千葉県 男女共同参画推進懇話会委員

違法ドラッグ 立ち入り検査 12店舗に販売自粛要請

成田空港などについて再質問をする林県議



健福祉センターや保健所等において実施しており、その中で違法ドラッグの問題を抱えている人やその家族にも個別相談等を行っております。

薬物に関する全体の相談のうち違法ドラッグ関係の相談は、本年度これまでに39件あり、内容に応じて、その危険性に関する説明や医療機関の紹介などを行っています。

また、違法ドラッグが原因と疑われる健康被害については、本年1月から9月までの間に、病院への搬送、若しくは救急要請があった件数は22件となっております。

林議員 脱法ハーブなどの違法ドラッグの販売店等に対する指導取締状況はどうか。

健康福祉部 県では、これまで、平成19年度から麻薬や指定薬物の他、これら

製品を販売していた28業者に對して、製品の回収及び廃棄を指示したところである。

今後、青少年等を対象に薬物乱用防止の啓発に取り組むとともに、違法ドラッグの販売店等に対する効果的な製品検査の実施と検査体制の整備に加え、定期的な監視指導を行ってまいります。

再質問

林議員 インターネット販売に對する対策はどう取り組んでいるのか。

保健医療担当部長 違法ドラッグのインターネット販売についても、固定店舗と同様に脱法ハーブと疑われる製品の買上げ検査を実施して、違法な製品の販売者に、製品の回収及び廃棄を指示しています。

IR(統合型リゾート)

遅れ目立つ本県の取り組み

林議員 総合企画水道常任委員会の視察で長崎県佐世保市のハウステンボス内の「西九州統合型リゾート研究会」事務局と佐世保市役所を訪れた。

地元が一体となった機運の盛り上がり、熱意の強さはIR誘致を進める上できわめて重要な要素であるが、本県の取り組みは大きく遅れをとっているといわざるを得ない。そこであうが、IR(統合リゾート)導入に向けた県の取組状況はどうか。

総合企画部長 本年7月

優位性の高い資源を多く有していることから、県としては、地域の実情を見極めながら、立地条件や既存の資源などを勘案し、本県ならではのIR導入可能性を検討してまいりたいと考えています。

要望

林議員 私が2年前の9月議会でカジノに特化した質問をしたその時の答弁と変わっていないような印象を受けた。メリット・デメリットを検討する段階は既に終わっており、前に進んでほしいと思う。

実際に進めるに当たっては、大きく2種類に分けられるのではないかと。1つは、沖縄県のように、自治体が必要に推進役となって進め

るケース。もう1つは、民間企業が推進役となるケース。

赤字続きだったハウステンボスをいっきにV字回復させた澤田社長は、ハウステンボスの敷地の一部を使って低予算で実現できるという絵を既に描いており、それを九州全域で支えるという取組になっている。

成田だとか幕張だとか、活動がバラバラになっている本県は、やはり、大きく遅れていると強く感じた。もし、民間が推進役として適しているのならば、そういった推進役の民間企業を募集する取組をやってみても良いのではないかと。幅広く検討していただくことを要望する。

振り込め詐欺 被害額27%増 前年同期比

林議員 千葉県内における振り込め詐欺の発生状況はどうか。

警察本部長 平成24年10月末現在の振り込め詐欺の発生状況は、認知件数56

7件、被害額は約11億7951万円であり、前年の同時期と比べ、認知件数は46件(マイナス7.5%)減少しておりますが、被害額は約2億5283万円(プラス27.3%)も増加しております。依然として県民に大きな被害が生じている状況にあります。

本県を含む首都圏では、従来から見られる現金を振り込ませる手口のほか、現金やキャッシュカードを直接被害者から受け取るオレオレ詐欺や、医療費等の還付金名下に現金を振り込ませる詐欺が多発しております。

また、被害者としては、65歳以上の高齢者が約72%で、このうち、女性が約77

県政に新風 市民の声を生かします

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ

林もとひと 県議事務所

〒286-0134

成田市東和田569 なるげや陶器ビル1階F号

TEL.0476-20-0884

FAX.0476-20-0885

Eメール:motohito884@gmail.com

引続くり件数増加

林議員 千葉県内におけるひたくりの発生状況はどうか。

警察本部長 平成24年10月末現在におけるひたくりの認知件数は981件で、前年同期に比べ53件(プラス5.7%)増加しております。